

コア通信 Vol.76

2024年
1月発行

(い福)

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。
昨年音楽業界では、坂本龍一さん、谷村新司さん、大橋純子さん、KANさんといった世代を問わず多くの音楽ファンから愛された大物アーティストの訃報が相次ぎました。感謝の想いを伝えるお別れ会では、音楽が主軸となり、名曲はいつまでも心の中で生き続けること、私たちも生演奏でその魂を伝え続けていかなければいけないことを実感しました。

弊社の27期方針発表会では、『変化の時、柔軟性と主体性で善全前進』とスローガンを掲げています。考え方や生き方が変わっていく社会の変化を柔軟に受け止め、守る文化と進化への対応をこなし、前進してまいります。

そして感性豊かな仲間と共に想像力を向上し、音楽の力で平和な社会の実現を目指して発信を続けていく所存です。
今後とも宜しくお願い申し上げます。

サウンドオフィス・コア 代表取締役 菊永良枝



新年に立てた皆さんの目標が

たっ(龍)成出来ますように！
今年最初のコア通信「最新号」のお届けです。

音楽と映像を皆様にお届けする
サウンドオフィス・コアのニュースレターです。

バレンタイン コンサート開催



2月11日(日)
六本木ハーランド
オンライン配信も
あります！

心に響く一曲 「昴／谷村新司」

1980年4月にリリースされた谷村新司のシングル曲。ソロ活動では自身最高となる60万枚の大ヒット曲となった。タイトルの“昴”は、冬の星座・おうし座の構成要素である1星団(多くの恒星が集まったもの)のことで、「プレアデス星団」とも呼ばれている。

谷村新司は明治の詩人・石川啄木の愛好者として知られ、『昴 すばる』の歌詞も啄木の作品から大きな影響を受けた。昴は、段ボールでいっぱいの引越しの荷造り中に、突然メロディーと歌詞が同時に降りてきたと言われている。昨年10月に亡くなった谷村新司の“昴”は、永遠の星となり、これからも多くの人の心の中で輝きつづけるだろう。

♪我は行く 蒼白き頬のままで

我は行く さらば昴よ

(日本音楽著作権協会(出)許諾 第2309059-301)



季節にあうおすすめの1曲

1月 雪山讃歌

原曲はアメリカの「いとしのクレメンタイン」という民謡。作詞家の西堀榮三郎が、京都帝国大山岳部の仲間たちと群馬県鹿沢温泉を訪れたが、雪で宿に足止めされた際に退屈を紛らわせるために作ったものである。1971年にこの地に歌碑が建立され、近くの道路では走行音が「雪山讃歌」の音階になるメロディーロードが設けられている。

QRコードから
演奏が聴けます



2月 いい湯だな

元は作詞永六輔、作曲いずみたく、歌唱デューク・エイセスによりリリースされたが、ドリフターズによりカバーされ、一躍世間に広まった。ドリフ版では、「ドリフのビバノン音頭」として『8時だヨ!全員集合』エンディング、また「さよならするのはつらいけど」として『ドリフ大爆笑』のエンディングテーマにそれぞれ少しずつ歌詞を変え採用されている。

楽器の 特性講座

第4弾～フルートってどんな楽器？

木管楽器の一種で、奏者の口元の形状によって音を出す、エアリード式の横笛です。現在は銀や金などの金属製の楽器ですが、昔は木製だったため、分類上は木管楽器になります。横向きに構える笛は、紀元前9世紀以前中央アジアを発祥としており、シルクロードを経て中国、ヨーロッパ、日本などへ伝えられました。

ピッコロ、ソプラノ、アルト、バスなどさまざまな種類、音域のフルートがあります。オーケストラや吹奏楽でよく使われ、柔らかい高音で存在感を放ち、「楽器の女王」とも呼ばれています。クラシックからポピュラーまで、さまざまなジャンルの楽曲で使われています。

フ(2)ルート(10)と読む語呂合わせから、JFPA(日本フルート普及推進協会)が、2月10日を「フルートの日」と制定しました。

代表曲

「星条旗よ永遠なれ」(スーザ)
「交響曲第4番第3楽章」(チャイコフスキー)
「ハンガリー田園幻想曲」(ドップラー)
「アルルの女よりメヌエット」(ビゼー)



♪ 編集後記 ♪

コアでは2024年一番初めの大きなイベントとして、2月11日開催のバレンタインコンサートを控えて、昨年末から出演者・スタッフ丸となり準備を進めています！

どんな内容になるのやら・・・運営側としても、いち観客としても楽しみです(^)♪ コア美



かたらい葬®・思い出スクリーン®の

サウンドオフィス・コア

〒202-0012 東京都西東京市東町3-13-21
クレストコート保谷403

TEL:042-421-7150 FAX:042-422-0894
HPアドレス: <https://www.so-koa.jp>

